



# 布土小だより



平成28年度 第7号

7月 8日

布土小・四つの約束

## 大人が笑えば子どもは笑う 布土小学校長 竹内 弘実

7月2日(土)、美浜町総合公園体育館で「美浜町家庭教育講演会」が行われました。前半は、「少年の主張」として、中学生の意見発表が行われました。今年は、河和中学校の青木楓花さんが「今をこれからにつなぐ私たち」、野間中学校の竹本美緒さんが「おばあちゃんに教わったもの」と題して、すばらしい発表をしてくれました。後半は、メインゲストである大棟耕介さんによる、楽しいパフォーマンスを交えながらのご講演をお聞きしました。



<大棟耕介さんの  
ブログより>

大棟耕介さんは阿久比町のご出身で、大学卒業後、名古屋鉄道に就職されました。名古屋鉄道の業務のかたわらクラウン養成講座を受講し、クラウン(道化師)としての活動を始められました。1998年には、名古屋鉄道を退社し、2003年には、WCAコンベンション 個人パフォーマンス部門で銀メダル(世界2位)に輝き、2004年からは、病院で入院中の子どもたちを訪ねる「ホスピタルクラウン」の活動を本格的に開始されました。



<講演会の後で、片山PTA  
会長と大棟耕介さん>

「笑顔は伝播する。笑っているおもしろくなる。まず、何を変えるのか、言葉を変える。声に出すことが大事。お父さん←尊い人。お母さん←太陽(かか)ということ。」など、など、など……。風船をふくらませながらふくらませた風船をイヌやサルに加工しながら、早口で、次から次へと、私たちを笑わせ、舞台を上から下へと動き回りながら楽しませてくれました。

最後に大棟さんは、『言わないと心は伝わらない』『手を挙げる勇気』『声を掛け合う、発言する勇気』をもってほしい。」と言われました。汗だくになってお話して下さった大棟耕介さん、本当にありがとうございました。

## \* 防犯教室 6月20日

6月20日(月)の5時間目に「防犯教室」を行いました。今年、布土小学校に不審者が侵入したという想定での避難訓練を行いました。5年生の教室から寄せられた不審者情報をもとに、不審者には男性職員が対応し、その間に、女性職員が子どもたちを誘導して体育館へ避難するというものです。半田警察署から、生活安全課の出口美咲巡査にもお越しいただき、お話をお聞きしました。児童の下校後は、出口巡査を講師に教職員で研修会を行いました。「不審者にどう対応するのか」、サスマタの正しい使い方などを教えていただきました。



児童の皆さん、校内で避難するときは、いつも「おはしも」を、外で不審者に会ったときは「つききおに」を合い言葉に、みんなで気を付けていきましょう。

お；おさない  
は；はしらない  
し；しゃべらない  
も；もどらない



つ；ついていかない  
み；みんなと一緒に  
（一人にならない）  
き；きちんと知らせる  
お；大声を出す  
に；にげる

## \*草刈り部隊出動！男子会 6月11日

6月11日(土)、元PTA会長柴田直樹さんの呼びかけのもと、今年もやってくれました、男子会。布土小学校の男性職員も加わって、校舎西側の斜面と運動場周りや中庭を中心に、黙々と午後2時半から約2時間、草刈り機の音をうならせてくれました。また、その前の週の土曜日(6月4日)には、布土区の役員さんたちが、通学路の草刈りとともに、体育館裏の草も刈っていただきました。

校舎西側斜面の草はすっきりと刈られ、植え込みで書かれた「布土小」の文字がくっきりと浮かび上がっています。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



## \*プール開き 6月21日~

6月21日(火)から水泳指導が始まりました。あいにく、21日は雨で、気温も水温も計るまでもなく中止になりました。翌22日(水)は気温25℃、水温27℃で、プールに入ることができました。少し寒めのプール開きでした。その後も6月中は雨が多く、プールに入れない日が続きました。が、7月入ったとたん急に暑さが襲いかかるようにやってきて、水泳指導にとっては大変よい日が続いています。みんな元気です。



## \*「つくだ煮街道」さんよりいただきました 6月23日

6月23日(木)「つくだ煮街道」の濱本様から、全校児童に「つくだ煮」をいただきました。「毎朝、朝ご飯をしっかりと食べて、元気に登校してください。」とおっしゃって、子どもたちにいただきました。

濱本様、ありがとうございました。



## \*学校保健委員会 6月23日

6月23日(木)今年度の第1回学校保健委員会が行われました。テーマは「日ごろからの感染予防—もしもに備えて、感染予防を考えよう—」でした。いつもは、高学年児童も参加しての学校保健委員会でしたが、今回は、子どもたちを帰してから、PTA厚生部の方たちと教職員で行いました。



感染症を防ぐにはどうしたらよいのかを話し合い、その後、嘔吐物の処理方法を、実演を交えて学習しました。

ノロウイルスやロタウイルスなどの感染性胃腸炎は、たった10個のウイルスで感染してしまうそうです。それなのに、人の嘔吐物1gの中には、ウイルスが100万個もいるそうです。また、便1gの中には、1億個のウイルスがいるそうです。感染ルートは2つです。食中毒としての感染と、人から人への感染です。感染予防の一番は、なんと言っても「手洗いうがい」です。

これから、食中毒も発生しやすい季節になります。自分が感染症になってしまうと、家族や友達にもうつしてしまうかもしれません。みなさん、手洗いうがいを徹底して、感染症から身を守りましょう。

